



まえばし市議会だより



— 主な内容 —

- 第2回定例会の概要 P.2
- 会派別の質問事項 P.2~3
- 5月臨時会の概要 P.3
- 総括質問 P.4~10
- 議案の議決結果 P.11
- 意見書 P.12

現在の議会棟



前橋市議会ホームページ

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html>

第二回定例会を六月九日から二十八日まで開き、「令和四年度一般会計補正予算」などの市長提出議案十五件、意見書案十一件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（6月9日）

小曽根議長が第二回定例会の開会を宣告した後、会期を二十八日までの二十日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、「令和四年度一般会計補正予算」など十三件の市長提出議案を上程し、所管の各部長から提案理由の説明がありました。

○第2日（6月16日）

上程中の議案や市政に対し、九人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ10ページに掲載）

○第3日（6月17日）

前日に続き、十二人の議員が総括質問を行いました。

○第4日（6月20日）

十七日に続き、八人の議員が

総括質問を行いました。

次に、上程中の議案十三件について、委員会付託を省略し、日本共産党市議団から「前橋市駒寄スマートIC周辺地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について」など二議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

続いて、県外先進地調査のため議員派遣一件を議題とし、申し出のとおり承認しました。

○第5日（6月28日）

初めに、固定資産評価員に資産税課長を選任、教育委員会の委員に畠山正文さんを任命したいとする市長提出追加議案二件を上程し、採決の結果、いずれも同意しました。

議員表彰



長年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績に対し、阿部忠幸議員（写真右）、小林久子議員が議員20年以上で全国市議会議長会から表彰されました。

定例会の開会に先立ち、表彰状の伝達が行われ、次いで、議長及び市長から感謝状が贈呈されました。

会派別の質問事項

次に、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案十一件を上程し、採決を行った結果、「民生委員・児童委員の担い手不足の解消を求める意見書」など四件を可決し、第二回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

□前橋令明

- ① 地方創生臨時交付金活用事業
- ② 市立前橋高校
- ③ ウクライナ避難民支援
- ④ 旧前橋駅舎の復活
- ⑤ 日赤跡地CCRC事業
- ⑥ 中心市街地の活性化
- ⑦ 事業所税
- ⑧ 小学生
- ⑨ 市民活動支援センター
- ⑩ 農業政策
- ⑪ 前橋市のICT
- ⑫ 農家支援
- ⑬ 野生イノシシ対策
- ⑭ 消防団員の処遇
- ⑮ 高層建物火災
- ⑯ 市有施設利用料金
- ⑰ 人間ドック
- ⑱ 共生社会形成
- ⑲ スポーツ環境
- ⑳ ふるさと納税
- ㉑ 市営住宅
- ㉒ 地域の諸課題
- ㉓ 前橋北部地区の諸課題
- ㉔ 国土強靱化地域計画
- ㉕ スポーツの振興
- ㉖ 住宅

補正予算など15議案を議決
一般会計補正後の予算額は1554億円



政策⑳学校現場㉑不登校支援㉒社会起業家の支援㉓前橋総合運動公園㉔地域寺子屋事業㉕テクノロジーの社会実装㉖希望をかなえるまちづくり㉗前橋市地球温暖化防止実行計画二〇二一―二〇三〇㉘スタートアップ㉙動物愛護㉚入札制度㉛教育行政㉜財政㉝スポーツ施設

□**前橋高志会** ①前橋市行財政改革推進計画②本市の財政状況③ウクライナ避難民の受入れ状況④マイナンバーカード⑤本市体育施設の整備⑥電子図書館の導入⑦前橋市斎場管理事業⑧都市計画道路木瀬城南通線⑨前橋市手話言語条例制定後の施策展

開⑩自治体DX推進に向けた取組状況⑪農業政策⑫環境政策⑬道の駅まえばし赤城⑭職員の配置⑮地域の諸課題⑯市民協働⑰農業施策⑱都市計画道路の見直し

□**市民フォーラム** ①防災対策②耕作放棄地の活用③本市の住宅政策④技術継承⑤感染症対策⑥環境問題⑦ICカードの活用⑧交通政策⑨図書館⑩都市計画施策⑪子育て施策⑫本市の市民福祉向上施策⑬防災対策⑭子供への安心安全施策⑮本市職員の働き方⑯物価高対策

□**公明党市議団** ①原油価格、物価高騰への対応②ICTの活用③下水道事業④学校施設の長寿化⑤若者政策⑥福祉医療制度⑦若年がん患者在宅療養支援⑧障害者情報格差解消⑨带状疱疹ワクチン⑩子供政策⑪就学援助制度⑫学校給食⑬HPVワクチン予防接種事業⑭文化芸術振興

□**日本共産党市議団** ①前橋市行財政改革推進計画の見直し②特別支援教育の拡充③学校給食④豪雨災害対策の充実⑤文化財保護行政の拡充⑥行政のデジタル化推進の問題点⑦高齢者の見守りと支援

□**まほろば** ①群馬大学と本市

のまちづくり②後期高齢者医療③公衆トイレの整備と管理④エネルギー価格高騰とゼロカーボン政策⑤クラウドファンディング型ふるさと納税⑥地域の諸課題

□**七星** ①基本的生活環境の整備②令和四年度県要望項目③令和四年度六月第二次補正予算

□**えいめい** ①教育行政②福祉施策③職員人事

□**なないろ** ①新型コロナウイルス感染症対策緩和②コミュニケーション・スクール③農業

□**赤利根** ①観光振興②文化振興③消防救助技術指導会④新しい価値の創造

5月臨時会

五月三十日に臨時会が招集されました。小曾根議長が開会を宣告した後、会期を一日とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、議案第五十号「前橋市一般職の職員の給与に関する条例及び前橋市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について」など六件の市長提出議案を上程し、所管の各部長が提案理由の説明を行いました。

その後、長谷川議員からの質

疑に続いて、日本共産党市議団から議案第五十号に対する反対討論の後、採決を行った結果、全て原案のとおり可決及び承認し、五月臨時会は閉会しました。(議決結果は11ページに掲載)

議 会 日 誌

五月及び六月に開催した主要な会議は次のとおりです。()内は開催回数です。

本会議(6)、総務常任委員会(1)、教育福祉常任委員会(1)、市民経済常任委員会(1)、建設水道常任委員会(1)、ICT利便性向上調査特別委員会(1)、議会運営委員会(7)各派代表者会議(5)、議会図書室運営委員会(1)など

政務活動費の情報公開

議員が行う調査研究などの活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月十万円(令和三年十月分から令和四年三月分までの政務活動費は月八万円に減額)の政務活動費を会派に対して交付しています。

令和三年度分の収支報告書及び領収書などの証拠書類は市庁舎二階の情報公開コーナー、市議会ホームページで公開しています。

質問



前橋令明
堤 波志芽



ウクライナ避難民支援

〈問〉ウクライナ避難民の支援について、補正予算では、市営住宅の整備に六百五十万円、日本語学習支援や一時金、生活支援として二千三百五十万円、合計三千万円が提出されました。既に市営住宅三戸を使用して十一人の避難民の受け入れが開始されましたが、支援の期間と受け入れ規模について伺います。

〈答〉本市では、国などが実施する生活費支援への独自加算を半年間実施していきたいと考えています。市営住宅は五十人程度、財政的には三千万円が上限であると考えています。引き続き財源確保に取り組みますが、避難民の数が想定を超えるような場合には対応を改めて検討し、自立に向けた支援を継続していきたいと考えています。

先代前橋駅舎復元を求める声

〈問〉先代前橋駅は昭和二年に建設され、昭和庁舎や群馬会館とともに本市を代表する洋風建築でしたが、駅の高架化に伴い、約六十年の歴史に幕を下ろしました。当時を知る人々からは、先代駅舎の復元を求める声が寄



先代の前橋駅舎

せられていますが、承知しているのか伺います。

〈答〉正式に市民意見を収集してはいませんが、市議会などでも定期的に質問されていることから一定程度そうした声があると認識しています。また、かつての駅前広場にあった噴水や銅像に関する意見なども聞こえてきますので、前橋駅周辺の都市景観も注目されていると捉えています。なお、歴史まちづくり計画には、駅舎を含めた駅周辺の歴史的景観の維持向上を目的とした事業を位置づける予定です。



前橋令明
鈴木 俊司



自治会長へのタブレット貸与

〈問〉今年度モデル地区の自治会長へタブレットを貸与し、実証実験を行うとのことですが、実証実験の実施概要を伺います。

〈答〉下川淵地区、東地区、大胡地区の自治会長及び前橋市自

治会連合会の正副会長のほか職員を含めタブレット五十五台を用意し、七月から九月まで実証実験を実施します。市と自治会の間で連絡や情報共有、自治会相互の情報発信、電子回覧板機能の活用、ウェブ会議などを各地区で行います。実験後は自治会長にアンケートを実施してその結果も踏まえて検証し、今後の導入に向けた検討を行います。

公民館の通信環境整備

〈問〉市内十六の公民館は市民の社会教育や生涯学習の場です。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用制限や中止される状況の中で、非接触による学習機会の提供に取り組んでいます。更なる推進のためには通信環境整備やオンライン講座機材の購入が必要です。公民館へのWiFi環境の整備状況とパソコンなどの機材の購入について当局の考えを伺います。

〈答〉WiFi環境の整備状況としては、令和四年度当初予算に購入費などを計上し、全公民館へホームルーターを導入する予定です。オンライン講座機材の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、全公民館へノートパソコンなどの機材の

購入を考えています。また、動画編集に係る職員向けの研修会を開催し、オンラインや動画配信による講座を更に充実させていきたいと考えています。



前橋令明
豊島 孝男



主食用米生産者の支援

〈問〉主食用米生産者の支援について、①事業の概要②支援金により期待される効果と今後の事業の進め方について伺います。

〈答〉①米価の下落により経済的な影響を受けている生産者に対し、支援金の支給を行う予定です。対象者は令和四年度の営農計画書を前橋市農業再生協議会へ提出している生産者で、作付面積が三十アール以上であることを条件に、十アール当たり五千円で三十万円を上限に支給する予定です②生産者の意欲向上や営農継続につながる期待しています。今後は、九月下旬頃に対象者へ申請書を送付し、十一月から支援金の支給を開始する予定です。

消防団員の処遇改善

〈問〉消防団員の出勤手当額を増額するなどのさまざまな処遇改善策は消防団員確保に向けて必要不可欠だと考えますが、当

局の考えを伺います。

〈答〉 関係部課と調整を図り、消防団と協議を重ねてこれまでよりも充実した処遇改善策を検討していきたいと考えています。



前橋 令明
佐藤 祥平



障害者へのスポーツ支援

〈問〉 東京パラリンピックを契機にパラスポーツへの関心が急速に高まっていると感じます。障害者へのスポーツ支援について、現在の状況を伺います。

〈答〉 歩行訓練、軽スポーツ教室、ふれあいスポーツ大会など、障害者自身の機能回復や余暇の充実などを目指した事業を実施し参加者から好評を得ています。

旧春日中と旧広瀬中の跡地活用

〈問〉 旧春日中と旧広瀬中の跡地の将来的な利活用が検討されていますが、①グラウンド整備の現在の状況②校舎の利活用の検討状況について伺います。

〈答〉 ①現在は暫定利用として、グラウンド使用を希望するスポーツ競技団体に対して条件を付けて使用許可をしており、天然芝サッカー場としての整備が進められています②令和三年度は民間活用の見込みとして、農業用施設、児童福祉施設、住居系

施設などの利活用が可能な用途の関係事業者に対して個別の聞き取りを実施したところ、問い合わせが来ている状況です。



前橋 令明
横山 勝彦



道の駅開業に向けた進捗状況

〈問〉 道の駅まえばし赤城の開業が近づいています。①施設整備の進捗状況②テナントの店状況について伺います。

〈答〉 ①新型コロナウイルス感染症による世界的な生産、物流の停滞から、十二月の開業は厳しい状況です。設備の納品時期が明確になり次第、開業時期をお知らせします②おおむね七割から八割の出店合意が得られ、地元企業を中心に計二十三のテナントが出店する予定です。

市民プールの通年利用

〈問〉 上細井町にある市民プールについて、夏の間の利用だけではなく、通年利用を考えてほしいとこれまで何回も繰り返ししてきましたが、当局の見解を伺います。

〈答〉 カヤックや、サップと呼ばれる、ゴム製のボードの上で立ってバランスを取りながらパドルをこいで水面を進む水上アクティビティーなどの体験がで

きる場所として今後活用ができないか、検討していきたいと思っています。



前橋 令明
市村 均光



民間施設の出席判断の基準

〈問〉 不登校支援において、フリースクールなどの民間施設との連携が進められています。出席の認定や成績の評価が課題です。市独自の出席判断基準となるチェックリストの作成について、現状を伺います。

〈答〉 国のガイドラインを基に民間施設の活動内容や経営方針などの概要を一覧表にまとめています。各学校では、一覧表の情報や民間施設による支援の実施状況、保護者からの聞き取りを踏まえ、該当校の校長が総合的に出席を判断します。

前橋総合運動公園の活用

〈問〉 前橋総合運動公園では、大勢の人が訪れてにぎわいが生まれています。活用状況と今後の活用について伺います。

〈答〉 チェアリングを開催し、自然豊かな公園の新たな魅力発信や施設の有効活用を図っています。今後はスポーツ大会などに併せてキッチンカーを出店し、来園者の利便性を図るとともに、

チェアリングをより魅力的なイベントにしたいと考えています。



前橋 令明
小岩井 僚太



交付金の採択状況

〈問〉 本市は、令和四年五月に申請したデジタル田園都市国家構想推進交付金のTYPE3に採択されましたが、今回の交付金の採択状況について伺います。

〈答〉 本市申請のTYPE3のまえばし暮らしテック推進事業と、本市も参画する群馬県申請のTYPE2のぐんま共創モビリティ社会推進事業が採択されています。先に採択されたTYPE1も含めて同じ地域でTYPE1から3まで全ての実装が進むのは全国でも本市のみです。

再生可能エネルギー

〈問〉 県のぐんま五つのゼロ宣言実現条例が制定され、一定規模以上の建物の建築または増改築をする場合に再生可能エネルギー設備の導入を義務づける規定が令和五年四月から施行されます。民間事業者に積極的な支援を検討すべきだと考えますが、見解を伺います。

〈答〉 今後動向を見据えながら、

質問

県に対して具体的な支援策を働きかけるとともに、本市の対応を検討していきたいと考えます。



前橋 令明
須賀 博史



変更契約に係る書類の簡素化

〈問〉原材料価格の高騰に対して、公共工事の適切な変更契約は可能とありますが、賃金または物価の変動に基づく請負代金の変更に係る事務手続は受注者側には難しい作業であるとの声があります。提出する書類の簡素化について見解を伺います。

〈答〉請負代金額の変更については、建設現場の進捗状況や現場に搬入された材料などを適正に確認する必要があります。書類の簡素化については、国や他自治体の動向も注視し、必要に応じて検討していきます。

動物愛護センター設置

〈問〉ボランティアや獣医師会などからの強い要望で、動物愛護センターの設置を市長のマニフェストに掲げたと聞いていますが、実現に向けたスケジュールや市長の考えを伺います。

〈答〉本市として目指している動物愛護、特に猫の殺処分ゼロに向けた動きを、改正された動物愛護管理法に基づいて、これ



殺処分ゼロを

からも対応をしていくという方向性は揺らいでいません。



前橋 高志会
笠原 久



市債残高の状況は

〈問〉本市の市債残高は全国的に見ても非常に多い状況にあり、今後市債残高が増えることは健全な財政運営の支障になるのではないかと懸念しています。令和二年度末の市債残高について伺います。

〈答〉令和二年度末の市債残高は、令和元年度末と比べて約二億五千万円減少の約千五百三十七億七千万円でした。内訳は、臨時財政対策債が約四億七千万円増加し、残高は約六百二十七億九千万円です。一方、通常債は約七億二千万円減少し、残高は約九百九億八千万円です。

マイナンバーカード交付状況

〈問〉本市のマイナンバーカードの交付状況を伺います。

〈答〉総務省が公表している情報では、令和四年五月一日現在の本市の交付率は四五%で、全国の交付率四四%を上回っています。また、群馬県内では、県の交付率三七・四%を七・六ポイント上回っており、県内市町村の中では第二位、県内十二市の中では第一位です。



前橋 高志会
富田 公隆



スポーツ施設整備の考え方

〈問〉群馬県では群馬国体のための施設整備に補助金を交付すると聞いています。これを活用し、競技団体が要望している施設整備がなされれば、将来にわたるスポーツ振興につながる大変価値のある事業だと考えますが、国民スポーツ大会も踏まえた施設整備の考え方を伺います。

〈答〉令和五年度に予定されている中央競技団体による視察に基づき、整備を行う必要があれば、整備要望も踏まえて県の補助金などを活用し、財源確保に努め、大会開催時期なども考慮して検討したいと考えています。

木瀬城南通線の整備

〈問〉都市計画道路木瀬城南通線の測量作業に伴う住民説明会が先日行われ、ようやく未整備

区間の事業が始まるのかと大いに期待されていますが、事業の概要を伺います。

〈答〉上増田工業団地の南側までの整備済み区間から東に進んだ二之宮小学校南の信号交差点までの区間約千三百二十メートルを整備したいと考えています。



前橋 高志会
窪田 出



手話言語条例に対する考えは

〈問〉前橋市手話言語条例第十条第三項では、学校の設置者は学校において手話が必要とする児童生徒などがいる場合に、必要な手話に関する支援を受けられるよう努めるとされていますが、教育委員会としてどのように考えているのかを伺います。

〈答〉合理的配慮の観点からも重要なことだと捉えています。現在本市には対象の児童生徒はいませんが、在籍することになった場合には充実した学校生活を送れるよう配慮していきます。

デジタルデバイドの解消

〈問〉本市におけるデジタルデバイス解消に向けた①考え方②具体的な取組③将来的なイメージについて伺います。

〈答〉①年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰も取り残さ



デジタルデバイドの解消（スマホ講座）

れない形でデジタル化の恩恵を
行き渡らせることが重要だと考
えます②デジタル推進委員制度
を念頭に、共助の力を引き出し
ます③デジタル手続きを希望し
ない人にも配慮した行政手続き
の環境が必要だと考えます。

**前橋高志会
近藤 登**

畜産農家に対する支援策

〈問〉輸入飼料の価格は二年前
の約一・六倍もの値上がりとな
っています。群馬県では地方創
生臨時交付金を活用した輸入飼
料高騰対策を打ち出しましたが、
本市独自の畜産農家に対する支
援策について、見解を伺います。

〈答〉本市独自の支援策につい
ては、群馬県が実施予定の補填
を上回る価格上昇など経営を圧
迫する状況が続くかどうかに応
じて、JA前橋市や関係機関な
どと連携を図り、検討したいと
考えています。

既存の道の駅との信頼関係

〈問〉新しい道の駅まえばし赤
城が開業した暁には、既存の道
の駅との協調体制がたいせつで
すが、本市との考え方、理解に
相違があると聞いています。こ
の相違を解消し、信頼関係を取
り戻すための方策を伺います。

〈答〉事業の推進に関して、事
業者と本市の考え方に相違があ
ることは認識しています。引き
続き市の考え方を丁寧に説明し、
建設的な意見交換を行うことで
信頼関係の構築に努めます。

**前橋高志会
山田 秀明**

子どもファンドの設立を

〈問〉市民提案型パートナーシ
ップ事業は主に大人を対象とし
ていますが、見方を変え、子ど
もの視点やアイデアを生かすた
めに子どもファンドを設立し、
子どもとの協働によるまちづく
りを進めてはいかがですか。

〈答〉子どもファンドの設立に
ついては、その方向性や在り方、
安定した財源の確保といった課
題などを整理する必要があるこ
とから、今後研究していきたい
と考えています。

農業者支援に向けた取組

〈問〉本市では人・農地プラン

を作成し、農業者支援を進めて
いますが、どの地域でも、後継
者不足などの共通した課題を抱
えています。課題解決に向けた
取組について伺います。

〈答〉実質化された人・農地プ
ランを活用して、農業者や関係
機関との情報共有を図り、担い
手の確保や育成、農地集積など
を行いたいと考えています。ま
た、ICTを活用したスマート
農業用機器導入への支援を進め
るなどの取組を考えています。

**市民フォーラム
大澤 智之**

災害用備蓄の対応状況

〈問〉水や食料の備蓄は、災害
時は三日分、大規模災害発生時
には一週間分の用意をするのが
望ましいと政府が情報発信して
います。本市の食料備蓄や非常
用電源、段ボールベッドなどの
対応状況について伺います。

〈答〉令和三年度末で、食料に



災害用備蓄

ついでにはアルファ米やビスケッ
ト類など、最大想定避難者四万
八千人の三食分に当たる約十五
万食を、また、飲料水について
は一人当たり一リットルのペッ
トボトルを各指定避難所などに
備蓄しています。更に、非常用
電源は、カセットガス式発電機
を各指定避難所に二台ずつ配備
しているほか、段ボールベッド
などの備蓄も進めています。

地球温暖化対策

〈問〉地球温暖化対策の一環と
して、廃熱利用による温室効果
ガス削減が注目されており、給
食センターの廃熱利用を検討し
ている自治体もあると聞いてい
ますが、本市の取組を伺います。

〈答〉現状、本市給食センター
での廃熱利用はありませんが、
温室効果ガスの排出削減につな
がる取組として、延べ床面積が
おおむね千平方メートルを超え
る市有施設の新築、改築を行う
場合は、再エネ、省エネ設備の
導入を検討しています。

**市民フォーラム
宮崎 裕紀子**

JR前橋駅北口地区の再開発

〈問〉JR前橋駅北口地区市街
地再開発事業では、令和五年度
中の完成を目指して超高層タワ

質問

マンションの建設が進んでいますが、①総事業費約百十億円の資金の組立て②販売状況について伺います。

〔答〕①現在の事業計画上、民間の負担額は約六十七億円、公費による補助金は約四十三億円です。補助金の内訳は、市街地再開発事業により国が約二十億円、県が約七億円、市が約十三億円、更に国の直接補助である防災・省エネまちづくり緊急促進事業の約三億円となる見込みです②分譲マンション二百三戸のうち、現在約半数が契約となっています。契約者の半数は前橋市内の人ですが、東京在住者など県外の人の購入もあります。



市民フォーラム
三森 和也



浸水想定区域内の避難所対策

〔問〕浸水想定区域における警戒時などの避難先の確保について、高崎市では、浸水想定区域内に、災害に備えた防災拠点として防災アリーナを開設しました。通常は体育館として活用する市有施設で、屋上は防災ヘリが離着陸できる構造になっており、緩やかなスロープで避難もできるようになっていて複合施設です。今後、このような施設

も検討を開始し、設置に向けて取り組んでもらいたいと考えますが、見解を伺います。

〔答〕防災アリーナのような複合施設の建設については、災害時以外の活用方法などを含め、先進地など他市の状況を確認しながら、浸水想定区域内の避難所対策の一つとして研究していきたいと考えています。



公明党市議団
石塚 武



地方創生臨時交付金の活用

〔問〕昨今の原油高、原材料高は生活困窮世帯だけではなく、一般市民の生活にも大きな影響をもたらしています。六月補正予算では、地方創生臨時交付金を約十億三千万円活用し、残り約七億一千万円が今後活用できるようにです。経済再生に向けた支援として、市民全般にわたる家計に対する支援と地域経済の活性化につながるような積極的な支援策を検討してほしいと考えます。そこで、地方創生臨時交付金の残り約七億一千万円をどのように活用していく予定なのか伺います。

〔答〕市民生活や事業者の経済

活動を支えるため、幅広く有効な対策を実施していく必要がありますので、地方創生臨時交付金はその貴重な財源として効果的に活用したいと考えています。議会をはじめ関係団体の意見や要望を含め、関係部署との協議を重ねて、活用事業を九月補正予算案に提出する準備を進めていきたいと考えています。



公明党市議団
新井 美咲子



独り親家庭の福祉医療費

〔問〕独り親家庭の福祉医療費の支給について、県内十二市で所得制限を設けているのは本市を含めて三市です。必要な家庭に支援が届くように所得基準を見直すべきだと考えますが、見解を伺います。

〔答〕本市では独り親家庭の人が安心して暮らせるようにさまざまな施策が講じられています。更に転入者も定着でき、住みやすさを実感できるように、県内他市の状況を踏まえながら所得基準を設けないことも含めて協議を進めたいと考えています。

若年がん患者の在宅療養支援

〔問〕若年がん患者は在宅療養の場合、三十九歳まで介護保険の対象にならず、精神的、経済

的な負担が生じています。県は令和四年四月から若年がん患者在宅療養支援事業を開始しており、本市も早急に支援すべきだと考えますが、見解を伺います。

〔答〕市民の要望や事業者などの状況を踏まえながら検討していきたいと考えています。



公明党市議団
高橋 照代



子ども中心の組織編成

〔問〕本市において、子どもを中心に置いた組織編成を行い、子ども政策を一元的に担う組織が必要だと考えますが、①これまでの組織体制での取組②今後の組織づくりについて伺います。

〔答〕①児童福祉と母子保健部門を統合した組織を保健センター内に設置し、子育て世帯に包括的な支援を行う体制を他都市に先駆けて構築しています②子ども家庭庁の具体的な内容や他都市の状況などを踏まえながら



保健センター内の子育てワンストップ窓口

組織の在り方について検討を進めていきたいと考えています。

文化芸術活動の奨励

〈問〉令和二年度に実施した市独自の文化芸術活動奨励金はたいへん好評でした。改めて助成事業を実施してほしいと考えますが見解を伺います。

〈答〉文化芸術を支える皆さんが再び活発に活動できるきっかけになるように、助成事業も含め、効果的な支援方法を引き続き検討していきたいと思えます。



日本共産党市議員
長谷川 薫



正規職員削減方針の問題点

〈問〉行財政改革の中心に職員削減を位置づけ職員を減らした結果、三人に一人が非正規職員です。年収二百万円余りの官製ワーキングプアが存在が民間企業の賃金引き上げや正社員の雇用を抑制し、地域経済の活性化を妨げているという認識はないのですか。また、少子高齢化対策など市民の行政需要に即して正規職員を計画的に増やすべきと考えますが見解を伺います。

〈答〉必要な所属に必要な任用形態の職員を配置し、それぞれの職に合った業務を担っており、地域経済の活性化を妨げる事態

につながるとは認識していません。職員数については、今後も限られた人員を有効に活用し、配置の最適化を図っていきます。



日本共産党市議員
近藤 好枝



学校給食費の無料化の拡充

〈問〉義務教育費で負担が最も重い給食費が、家計を圧迫しています。特に物価高騰が子育て世代にとって大きな打撃となっています。給食費の完全無料化は子育て世代への支援、自治体のまちづくりという観点でも重要との認識を明確に持つべきです。少子化対策の観点から、直ちに第二子以降の子どもを対象にした給食費の完全無料化を実現し、小中学校の完全無料化へのロードマップを明らかにして実施すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉学校給食費の無料化の拡充は多額の財政負担が生じることや、市として他の優先すべき施策との関係から慎重であるべきと考えています。



日本共産党市議員
吉田 直弘



豪雨災害対策の充実

〈問〉線状降水帯やゲリラ豪雨



準用河川(広瀬川)

などの災害が深刻となっております。令和三年七月の豪雨では市内十か所で溢水被害が発生し、災害への不安の声が広がっています。①災害予防の観点からの準用河川の管理強化②東地区の滝川や農業用水路の溢水対策③市有施設以外の施設と連携した指定避難所の拡大について伺います。

〈答〉①地域からの要望や計画的補修に対応し管理業務を行っています②関係課で継続して検討会議を行っており、調査検討を踏まえ順次対策を実施する予定です③各施設管理者と協議をしていますが、管理体制や整備の面から指定避難所開設が難しい施設もあり、今後も地域の要望を踏まえ協議していきます。



日本共産党市議員
小林 久子



デジタル化推進の市民合意

〈問〉行政のDX推進、スーパースィティ構想やデジタル田園都

市国家構想推進交付金の申請と、本市は市民合意のないまま、国の交付金事業に手を挙げてデジタルの実験場としてきましたが、市民要望とかけ離れ、市民に喜ばれる施策になっていないと言えませんが、市民が望むデジタル化事業を進めるには、市民理解や市民合意は大前提であると考えますが見解を伺います。

〈答〉デジタル田園都市国家構想推進交付金の申請は、市民への説明は条件とされていませんが、今後、官民共創により事業を進めることになるので、サービスの内容を展開する場合には、市民の皆さんに分かりやすくお知らせしたいと考えています。



まほろぼ
岡田 修一



群大病院の建て替えと連携

〈問〉近頃、群大病院は建て替えの話があると聞いています。また、二十年ほど前には群大教育学部と埼玉大学との統合のような話もあり、こうした経緯から健康医療都市前橋のためにも、大学との信頼関係や連携をより緊密にすることが重要だと考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉群馬大学との幅広い連携は不可欠であり、特に医学部と

総括質問

の連携は、大きなポイントである
と認識しています。



まほろば
浅井 雅彦



江田天川大島線の整備

〈問〉都市計画道路江田天川大島線の利根川新橋を含む利根川西側の整備について、今後の進め方を伺います。

〈答〉令和四年度に予定している基礎調査で、部分的に道路整備を実施した場合に発生する渋滞など周辺道路に与える影響を分析し、最適な整備順序などを検討する方針です。この調査結果を踏まえ、引き続き事業化に向けた研究を重ねていきます。

東地区の溢水被害対応

〈問〉ゲリラ豪雨による溢水被害が住民生活を脅かしています。東地区における対応について伺います。

〈答〉農業用水路の水門の開閉などを行うとともに、雨水を流入させるグレーチングの増設など、応急的な対応を行っています。また、現在関係部局と連携しながら、排水区の見直しや排水施設などの再整備の検討を目的とした排水計画策定業務に取

り組んでいます。



七星
中林 章



自治会の整備要望への対応

〈問〉各自治会からの整備要望に対する令和二年度の実施率は、道水路で一三・九%、農業用水路で二六・四%でした。要望が実現できないままでは市民からの信頼を失いかねないという危険性があり、環境整備費を減額しないでほしいと強く願いますが、①現状と課題②今後の方針について伺います。

〈答〉①整備要望は実施に数年かかるものから短期に対応できるものまでさまざまです。予算の確保が課題ですが、整備の優先順位を自治会と確認しながら対応しています②地域要望があることはじめうぶん承知しており、必要な事業に集中して暮らしを守る予算をつくり取り組みたいと思っています。

町社協の設立に向けて



えいめい
藤江 彰



〈問〉町社協の設立には自治会の役割が大きな比重を占めていますが、担い手の不足により負担増が懸念されるほか、既に福

祉的な活動を行っている自治会もあるなど実情はさまざまです。町社協設立に向けて、よりきめ細かな支援が必要と考えます。そこで、自治会の理解や協力を得るために、どのように対応していくのか伺います。

〈答〉令和五年四月からの町社協設立を目標としていますが、自治会の実情はさまざまであることから、前橋市社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携して、自治会ごとに丁寧な説明、支援を行いながら、その実情に合わせたスケジュールを進めていきたいと考えています。



なないろ
入澤 繭子



オーガニックビレッジ宣言

〈問〉国では有機農業の推進を強化しており、モデル的先進地区を創出してオーガニックビレッジ宣言をした市町村に支援を行います。二〇二五年までに全国百市町村での宣言を目指しています。今、五十一市町村が手を挙げていますが、本市の有機農業の取組とオーガニックビレッジ宣言に向けた考え方を伺います。

〈答〉有機農業に取り組む生産者には国の環境保全型農業直接支払交付金を助成し、宣伝活動や販路拡大を支援しています。オーガニックビレッジ宣言は地域が一体となった取組が必要なため、先進的事例の情報収集や農業者や農業団体と意見交換を行いながら有益かつ持続可能な取組を検討します。



赤利根
岡 正己



四大イベント

〈問〉本市の四大イベントは新型コロナウイルス感染症の影響で形を変えざるをえませんでしたが、このような状況だからこそお祭り本来の目的に立ち返り、できるだけ本来の形で実施を目指すべきだと思いますが、①当局の考え②七夕まつりの状況を踏まえた今後のイベントの検討について伺います。

〈答〉①四大イベントは地域発展など市民の思いが込められており、伝統を引き継ぐことは重要だと認識しています。本来の趣旨に沿った形で、社会情勢の変化に対応しながら実施していきたいと考えています②新型コロナウイルス感染症拡大前の開催状況に近づけられるように協議していきたいと思っています。

意見書

第二回定例会では、意見書案四件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○民生委員・児童委員の担い手不足の解消を求める意見書

民生委員・児童委員制度は、市民福祉向上にとって欠かせない制度となっている。急速な高齢化の進行や核家族化等家族の姿は大きく変化している中であつて、直面する生活課題、福祉課題も多様化、深刻化しており、民生委員・児童委員に期待される役割は一層大きくなっている一方、負担も増大となっている。活動環境整備とともに担い手確保は全国的な課題となつていくことから、次の事項を速やかに実施するよう国に強く要請する。

①担い手不足に対する抜本的な対策会議の設立等対策強化②活動費の財政措置の速やかな強化③業務負担軽減に向けた活動記録等の簡素化。

○環境を考慮した学校（エ

コスクール）事業のさらなる推進を求める意見書

学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境の向上とともに、学校施設を教材として活用し児童生徒の環境教育を行うエコスクール事業が行われてきた。

この事業は、現在エコスクール・プラスとして、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省が連携協力し、認定を受けた学校が施設の整備事業を実施する際に、関係各省より補助事業の優先採択などの支援を受けることができる。文部科学省の支援として、令和四年度からは、地域脱炭素ロードマップ（国、地方脱炭素実現会議）に基づく脱炭素選考地域などの学校のうち、ZEB化を達成する事業に対し、単価加算措置八%の支援が行われているところである。

エコスクール・プラスに示されている太陽光発電や壁面緑化、自然採光、二重サッシ等を取り入れた学校施設は、仲間とともに環境問題や環境対策を学ぶことができる貴重な教育機会と

なっていることから次の事項に留意しながら積極的な推進を行うことを国に強く要請する。

①学校施設に関するZEB化への新たな技術情報及び、新築や増築といった大規模事業だけではなく、部分的な省エネ改修事業についても周知に取り組むこと②カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実に向けて、全ての学校が取り組むことができるよう、学校施設整備に対する事業予算額を増額すること。

○教育予算の増額と教育費負担軽減措置等の拡充を求める意見書

経済的理由や地理的要因等により、子どもたちが希望する教育や進学を諦めることのない教育環境を整えるため、次の事項を含む施策の早急な実施を行うよう国に強く要請する。

①教育予算の大幅な拡充を行うこと②就学援助や学習支援事業を推進、拡充すること③高校授業料無償化の所得制限撤廃及び高校生等奨学給付金の拡充を行うこと④給付型奨学金、無利

子奨学金の拡充を行うこと⑤大学等における授業料減免措置の拡充と国立大学運営費交付金及び大学病院運営費交付金の維持拡充を図ること⑥多様な教育機関の確保及び公私間格差是正のため、私学助成の充実を図ること。

○緊急事態に関する国会審議を求める意見書

我が国では、これまで大地震や感染症、その他の緊急事態の発生に対し災害対策基本法や新型インフルエンザ等対策特別措置法などによって対処してきたが、今後、他国からの侵略も含

めて、より重大な緊急事態が発生した場合は、従来の法体系では対応できないのが現状である。

国家の最大の責務は、緊急事態において国民の生命と財産を守ることであり、国民はそのための施策と法整備、根拠規定たる憲法の在り方について国会が建設的な議論に取り組むことを期待している。緊急事態に対応する法整備の在り方について、建設的かつ広範な議論を行うとともに、地方自治体の意見を尊重した上で、国民的議論を喚起するよう国に強く求める。

次回定例会日程（予定）のお知らせ

9月1日(木)	本会議(初日)
9月8日(木)	本会議(総括質問)
9月9日(金)	
9月14日(水)	建設水道常任委員会
9月15日(木)	総務常任委員会
9月16日(金)	教育福祉常任委員会
9月20日(火)	市民経済常任委員会
9月27日(火)	本会議(最終日)

(日程は変更になる場合があります。)

本会議の傍聴は議会庁舎5階の議場入口で、委員会の傍聴は議会庁舎1階の議会事務局で受け付けます。

手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の5日前までに下記へご連絡ください。

発熱などで体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮ください。

また、本会議については、インターネット中継でもご視聴いただけます。



←本会議のインターネット中継
<http://maebashi.gikai-tv.net>